



# レインボー

石川県教育支援センター やすらぎ羽咋通信第59号 令和2年12月発行  
 〒925-0021 石川県羽咋市吉崎町1番地2(羽松高校内)  
 TEL・FAX 0767-22-0345  
 URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~ushouh/yasuragi/>

今回のイラストは、トナカイに置いて行かれた？「サンタクロース」。1897年のニューヨーク、「サンタクロースっているのでしょうか？」とヴァージニアという8歳の少女から送られてきた手紙に、新聞社『ザ・サン』はあれこれ悩んだ末、「じつはね、ヴァージニア、サンタクロースはいるんだ！」と社説で返答しました。その文章がとても味わい深く、アメリカで最も有名な社説として、ずっと読み継がれているそうです。

曰く、サンタクロースは「こじ開けることのできないカーテン」の向こう側にいて、なかなか見えません。そのカーテンを開けることができるのは「……」と社説で書いています。何かと数値化、効率化、最適化が求められる昨今ですが、同時に子どもたちの素朴な疑問や感性に寄り添う社会でありたいものです。

いつの間にか年の瀬、百年ほど前はスペイン風邪が大流行しました。今はコロナ禍、困難にあっても希望だけは失わず、来年はいい年になりますように。

## 教育相談状況

令和2年12月11日現在

	8月	9月	10月	11月	12月	計(4月から)
来所相談	1	5	13	4	3	48
出張相談	4	2	5	0	0	17
電話相談	2	12	8	5	5	59
計	7	19	26	9	8	124

## 3月までの相談日

- ◇ **スーパーバイザー** 田幡 啓子先生 (公認心理師・臨床心理士)  
 第16回 1月7日(木)、第17回 1月21日(木)、第18回 2月4日(木)  
 第19回 2月18日(木)、第20回 3月4日(木)
- ◇ **スクールソーシャルワーカー** 石井 了恵先生 (精神保健福祉士)  
 第8回 1月14日(木)、第9回 2月9日(火)、第10回 3月11日(木)
- ◇ **スクールカウンセラー** 幸崎 美津男先生 (公認心理師・臨床発達心理士)  
 第9回 1月26日(火)

\* 12月29日(火)～1月3日(日)は、閉室とさせていただきます。

## やすらぎ羽咋教室研修会

11月26日（木）、本教室のSSW石井了恵先生（精神福祉士、元高松病院ソーシャルワーカー）を講師にお招きし、「ソーシャルワーカーの役割と具体的活動内容」というテーマでお話をいただきました。豊富なご経験から示唆に富むお話でした。また参加者22名の方々の感想を読ませていただき、共感するとともに、連携の大切さをあらためて感じました。ありがとうございました。



### 【参加者の感想から】

◇ さまざまな力をつなぎ、力を合わせることで、対象となる生徒の悩みや苦しみを少しでも軽減することができることを学びました。

◇ 一緒に考えていく姿勢が大切だと、改めて感じました。現在、不登校の生徒がクラスに数名おり、校内では解決できず、どこへ繋いでいったら良いか、学校として何ができるのかと迷い、悩んでおります。頑張っている保護者の方に、どのように声かけをしていったら良いか等、アドバイスをいただくと助かります。

◇ SSWの存在は知っていましたが、理解していたつもりですが、実際の事例を紹介していただき、今後の参考になるなと思いました。まさに家庭環境が大事であると本当に感じますが、ただ手をこまねているだけで、なかなか入り込めないのが実情です。また、発達障害に関する生徒も多く、改めて症状と特性など勉強し直す機会となりました。

◇ これまでの教育相談の経験では、生徒が精神・心の問題を訴えたとき、SC的に解決を図ることのみに終始しがちでした。今後は、社会が複雑になっていることも考えれば、「環境」を整える視点を加えなければ解決につながらないだろうと、改めて思いました。積極的にSSWのお力をお借りしようと思いました。



## 体験活動&やすらぎファーム便り



小松菜の芽から本葉が出てきました。とても元気に育っています。赤丸二十日大根の種も、無事、発芽しました。

「謎の芽」も順調に育っています。ただ、何の芽なのか、未だに正体が分かりません(´\_`)



小松菜



赤丸二十日大根



謎の野菜？

